



●国道8号加賀拡幅の工事を推進中！

国道8号（加賀市松山町地先～同市加茂町地先 延長約2.2 km）において、交通混雑の緩和を目的として、加賀拡幅事業（4車線化）を進めています。

2車線の道路を4車線にするために、山側の道路を広げる工事を行った後、車が走る車線を海側から拡幅側へ切り替えて、それから海側を整備するという順序で整備を進めています。

現在、松山交差点から桑原交差点と西島交差点から福井側が山側への車線切り替えが完了し、海側の工事を進めてるところです。

また市道と立体交差している庄跨道橋は、4車線化時に平面交差点となるため、橋の撤去を行っています。

工事期間中、交通の迂回等が発生し皆様にはご不便をおかけしますが、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。



【車線切り替えの様子(西島交差点～福井側)】



【庄跨道橋撤去の様子】

関連URL：https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/r2/p0727_1.pdf

●特殊車両・過積載の取締りを実施

金沢河川国道事務所では、過積載車両や大型車両の違法運行に伴う道路・橋梁の損傷や、重大事故を未然に防止する事を目的に、石川運輸支局、石川県警察本部、中日本高速道路(株)金沢支社の4者合同による特殊車両・過積載の取締りを実施しています。

10月13日(火)は加賀市熊坂町の国道8号加賀特殊車両指導取締基地及び北陸自動車道加賀インターで実施しました。加賀特殊車両指導取締基地では3台引き込んだ結果、違反は2台で警告を発出しました。

今後も道路保全、重大事故防止のため、警察等と連携した取り組みを継続していきます。



【加賀特殊車両指導取締基地での取締の様子】



●国道8号小松バイパスの4車線区間を延伸

10月30日(金)金沢河川国道事務所が整備を進めている国道8号小松バイパスのうち、能美市小杉町～小松市能美町間について、4車線区間を約1.3km延伸しました。

【今回の開通により期待される主な効果】

- ① 円滑な走行環境を確保することにより、交通混雑が緩和されます。
- ② 交通ネットワークを強化し物流の円滑化を図ることで、工業をはじめとした地域産業の更なる活性化を支援します。



【小杉ICから金沢方面を望む (4車線延伸後)】



【空中から4車線延伸区間を望む】

関連URL：記者発表資料

https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/r2/p1023_1.pdf

●国道159号卯辰トンネルが「風景印」に！

金沢河川国道事務所が整備している国道159号金沢東部環状道路(山側環状)の卯辰トンネルが、金沢桜町郵便局の風景印の一部として描かれることになりました。

描かれた「卯辰トンネル」は、浅野川や鈴見橋、桜町とともに地域の特色を表すような図柄となっております。

風景印とは、郵便局名・日付の他に、郵便局周辺の代表的な名所や風景を描いた図柄の入った消印です。該当の郵便局に、直接出向かないと押しもらえない消印なので、旅行の思い出やコレクションとして、ぜひ使用してみてください。

関連URL：郵便局HP

https://www.post.japanpost.jp/kitte_hagaki/stamp/fuke/detail.php?id=1306

卯辰トンネル



【金沢桜町郵便局の風景印】 (R2.10.26～使用開始)

●「道路雪害対策支部」の看板を設置、除雪出動式及び車両移動訓練を実施

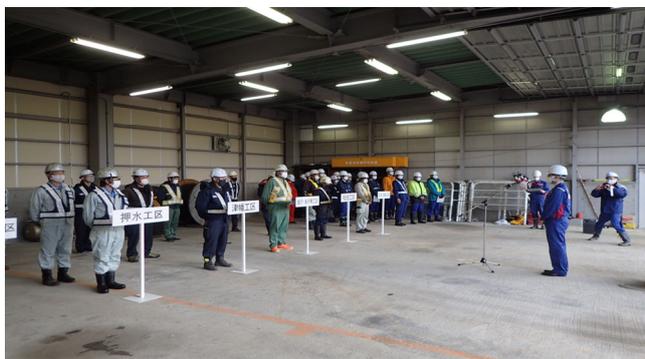
11月2日（月）に事務所玄関にて「道路雪害対策支部」の看板かけを行いました。また、11月4日（水）には金沢除雪基地にて除雪作業受注者等関係者が一堂に会し、除雪出動式を実施しました。出動式では金沢河川国道事務所長の挨拶の後、受注者代表の丸建道路株式会社の現場代理人 佐野秀勝氏が「安全で確実な除雪作業を行う」と決意を表明しました。

除雪出動式終了後、引き続き関係者が参加して車両移動訓練を実施しました。訓練は「走行不能車両が道路を封鎖した」という現場を想定して行い、放置された乗用車を路肩に移動する訓練等を行いました。

「道路雪害対策支部」は11月1日（日）から3月31日（水）まで設置しており、国道8号、157号、159号、160号、470号の5路線、総延長201.2kmの円滑な除雪作業に努めていきます。



【支部看板設置】



【受注者及び職員等関係者約50人による出動式】



【簡易ジャッキを用いて車両移動】

関連URL：記者発表資料 https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/r2/p1029_1.pdf

●道路雪対策メディア説明会を開催

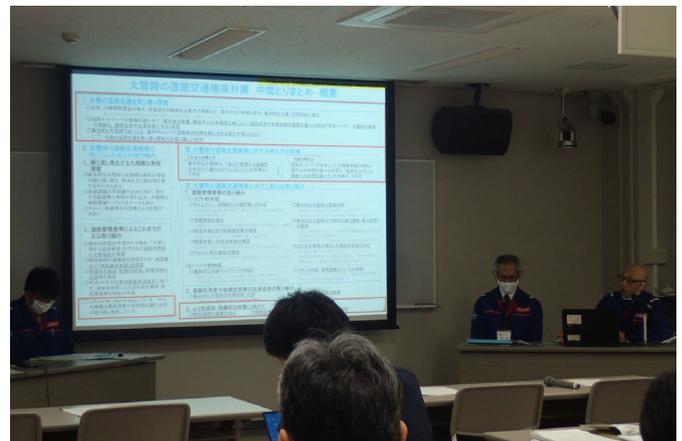
11月26日（木）にメディア関係者と冬期の道路情報提供について連携を図る「道路雪対策メディア説明会」を開催しました。

本格的な降雪期を迎えるにあたり、道路管理者とメディアが、道路利用者に対して、「いつ」「どこで」「なにが」「どうなっているか」の情報を速やかに伝えることを改めて確認しました。

それぞれの役割、特性を生かし、速やかな情報提供と情報発信を行うための手段や新たな手法を模索していくことも確認しました。



【説明会の状況】



【雪対策の中間とりまとめ報告】

●冬期の道路交通確保にむけた「雪害対応合同訓練」を実施

平成30年2月に福井・石川県境部において、大雪による車両の立ち往生、長時間の渋滞が発生したことを受け、冬期の安全な道路交通の確保を目的とし、11月26日（木）に石川・福井両県の関係機関による「雪害対応合同訓練」を実施しました。

石川・福井県境での豪雪を想定し、大雪対応タイムラインに基づき、各機関の情報と行動をシミュレーションした訓練を行いました。

また、福井河川国道事務所とはテレビ会議システムにて接続し、情報共有・連携を図りました。

今後も関係機関との連携強化を図り、安全な道路交通の確保に努めるとともに、円滑な除雪作業を実施していきます。



【TV会議システムを使用した訓練の状況】



【関係機関による情報連絡本部の状況】

関連URL：記者発表資料 https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/r2/p1124_1.pdf

●第10回金沢自転車ネットワーク形成に向けた勉強会を開催

11月14日（土）にオンライン配信により金沢自転車ネットワーク協議会が主催する第10回金沢自転車ネットワーク形成に向けた勉強会を開催しました。

今回の勉強会では「自転車の多様な活用可能性を学ぶ」をテーマに、ウィーラースクールジャパン代表のブラッキー中島氏による「共創（Co-Creation）で生み出す豊かな社会～自転車の活動を通じて見えてきた、社会に必要なものとは～」と題した基調講演のほか、各道路管理者による取組報告や学識者、警察、自転車関係関係者等によるパネルディスカッションを通じた意見交換を行いました。新型コロナウイルス感染防止対策として初めてオンライン配信による開催となりましたが、県外からも多くの方に参加していただきました。



なかじま

【ブラッキー中島氏による基調講演】



【パネルディスカッション】

関連URL：記者発表資料 https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb5_kouhou/press/r2/p1112_3.pdf

金沢自転車ネットワーク協議会 <https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/douro/bicycle.co/outline/>

★お問い合わせ先★

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 副所長 尾崎 誠

電話 076-264-8800（代表） F A X 076-233-9631

金沢河川国道事務所ホームページ

URL：<https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>